

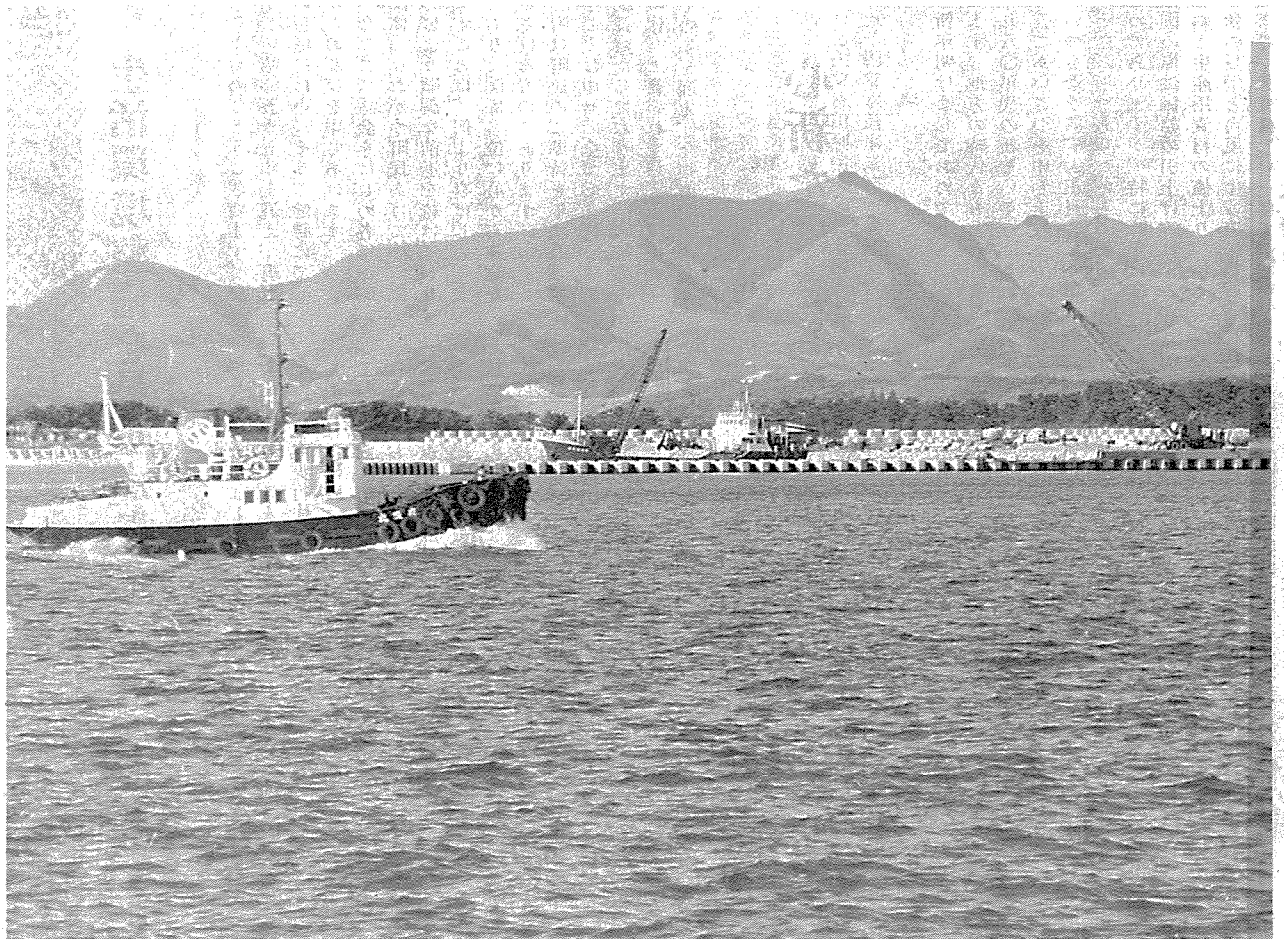
106号

広報 しんち

12月1日現在
()内は前月比

住居	1,972世帯 (-1)
男	4,330人 (-2)
女	4,507人 (+3)
合計	8,837人 (+1)

55/1



80年代の夜明け

躍進する新地町へ

新年明けまして、おめでとうございます。
 『激動の時代』のことは象徴されたかのよ
 うにインフレ、物価高、石油危機にあげくれ
 た七十年代も百八の梵鐘ぼんねの音とともに過ぎ去
 り、心新たな気分の中に新年をお迎えのこと
 と思えます。

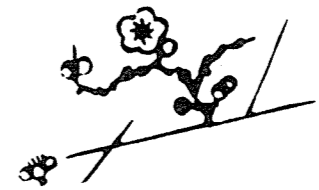
今年サル(申)とし。サルということば
 は、「去る」「サルまね」「サル知恵」「サ
 ル芝居」などといった調子で、あまりいい意
 味には使われず、今年を毛嫌いするきらいが
 あるようです。

しかし、今年は八十年代スタートの年。エ
 ネルギー問題を始め、依然厳しい道が予想さ
 れますが、いっそう住みよい町の実現をめざ
 して、『地方の時代』といわれる八十年代を
 大きく飛躍するうえでも、今年躍進する新
 地町への出発の年にしたいものです。そして、
 町民のみなさまには、幸せの多い年でありま
 すようお願いいたします。

【写真】第五次港湾整備計画の最
 終年度である昭和五十五年度をひ
 かえ、二号ふ頭建設が進む相馬港】



年頭のあいさつ



新年おめでとうございます。輝かしい昭和五十五年を迎え、町民の皆様にはいっそうご健勝にて心からお慶びを申し上げます。

今日まで議会をはじめ各種機関、団体、なおかつ町民あがてのご協力により順調な前進を続けておりますことは、何より喜ばしいことであり、関係各位に心から謝意をささげるものであります。

町は町民のご期待を年次計画の中でとは申せ、全て応え得るまで成長いたしております。地方の時代」と言われる八十年代のスタートの年を迎え、今後の町政の基本

生活環境整備を最重点に

町長 橋本正一

理念をいたしましては、多様化する町民のみなさんの要求を的確に把握、立案実行する町政、すなわち追われる町政より追う町政を地で行く方針でございます。

本年におきましては生活環境の整備を最重点に、広域簡易水道事業、農村総合整備モデル事業を継続して進めて参ります。全戸加入を目標におし進めている広域簡易水道事業は今年で三年目を迎え、これまで取水・浄水施設、第二配水池等が完成いたしております。

現在、駒ヶ嶺地区の配水管布設工事を進めており、四月から一部給

心新たにさらに前進

議長 宍戸喜代治

新年明けましておめでとうございます。地方の時代とも言われる一九八〇年代の新しい年を迎え、一言ごあいさつを申し上げます。

いままながら、お正月には今年こそ良い年でありたい——と願うものであります。特に昨年は産油国の原油価格の引上げ等による燃料と生産用資材の値上り、加えて秋の長雨と台風による農産物の被害等、大変厳しい一年でござい

ました。

今年についても、現状から見て極めて厳しく楽観を許さない年であると思われま。国の財政再建計画による地方財政の引き締めが一段と強化され、特に農政面では食糧の赤字解消と米の生産調整のための転作上積み、生産者米価の据置き、加えて物価の引上げ、特に生産用燃料と資材の高騰等で農家のかたがたには不安な年である

水を開始する予定であります。また、農村総合整備モデル事業は、集落道路、排水路の整備を目玉として事業着手二年目を迎え、向う六十年の中で懸案事項の一つの解決を図って参ります。

福祉関係につきましては、昨年九月から福田保育所の改築工事を進めており、一月末に完成の見込みとなっております。定員も現在の六十名から九十名に増員する予定で、幼児教育の充実、保育のための老人負担の軽減をめざすものであります。

産業振興につきましては、ほ場整備、漁港の整備充実等を図る方針でございます。また、議会に特段のご協力を願っている工場誘致、火力発電所の建設は、将来の新地町の命運がかかっているだけに、町民のみなさんのご理解とご協力を得ながらあらゆる条件を整備し、

国・県に対して要望していく所存でございます。

八十年代は余暇の増加と価値観の変化により精神的豊かさを築くことがなご一層求められ、町といたしましても現在駒ヶ嶺公民館を建設中で、さらには農村環境改善センターの建設を計画しております。また、町民グラウンドについても年次計画の中で整備する計画で、そうした中で町民のみなさんの欲求に添えていく方針でございます。

以上申し上げましたが、中央政界等をみるにつけても政治道義の高揚を図りながら「温容と対話」。町政に偏地を作らず、を継続して対処いたして参りますので、町政振興のため特段のご協力をお願いいたしまして、年頭のあいさついたします。

く、決して楽観を許さないことは充分承知しておりますが、目的達成のため心を新たにしまして、さらに前進を続けて参りますので、よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

明るく住みよい町づくりは、町民各位のご協力が必要なことは申し上げるまでもございませ。なにとぞご理解のうえ、格別のご協力をお願い申し上げますと共に、町民皆さんがたのご多幸を心から祈り申し上げ、年頭のあいさついたします。

十二月定例町議会

職員給与の改定

補正予算など七議案を可決

▽十二月定例町議会が、十二月十七日から二十日まで…△
 △の四日間の日程で開かれ、職員給与に関する条例…△
 △の一部を改正する条例など七議案を審議し、原案通り…△
 △可決しました。

▽職員給与に関する条例の一部を改正する条例
 昭和五十四年八月十日の人事院勧告に基づき、職員給与を国家公務員に準じて昭和五十四年四月一日にさかのぼり改定したもので、この結果、職員給与は平均三、五五割、四千七百九十五円の上昇となりました。

▽新地町営住宅管理条例の一部を改正する条例
 公営住宅法施行令の一部が改正され、入居者の収入算定基礎となる諸控除と入居資格の基準収入等が引上げ緩和されたため、それに準じて条例改正を行ったものです。なお、使用料は従来どおりです。

▽一般会計補正予算
 今回の補正では六千七百二十四万九千九百円を追加、今年度の一般会計は十五億一千七百七十六万二千円になりました。

補正の主なものは、職員給与改定に伴う追加分七百六十九万九千九百円、今泉代替宅地造成に伴う取付道路等整備工事費一千八百九十二万一千円、老人医療追加分四百十六

万五千円、支出額五千九百七十二万六千円をそれぞれ追加したもので、この内容は、繰越金七百三十三万八千円を財源として、人件費及び今後の支出に備え百六十二万四千円を予備費として計上したものです。

その他の可決議案
 ◇字の区域の変更
 ◇専決処分の承認を求めることについて

▽町税一千六百六十四万九千九百円、地方交付税二千三百三十六万八千円、国庫支出金七十八万三千円、県支出金二千四百七十一万三千円、諸収入三百九十五万一千円、町債六百三十万円などです。

これら補正の主な財源は、
 △町税一千六百六十四万九千九百円、地方交付税二千三百三十六万八千円、国庫支出金七十八万三千円、県支出金二千四百七十一万三千円、諸収入三百九十五万一千円、町債六百三十万円などです。

○水道事業会計補正予算
 今回の補正では、収益的収入に給与改定による人件費の増加分十八万五千円を追加、この結果、予算総額は三千六百二十二万六千九百円となりました。また、資本的収入に広域簡易水道布設事業国庫補助金の追加による工事費の増加分を中心に、収入額五千八百三十二万

五千円、支出額五千九百七十二万六千円をそれぞれ追加したもので、この内容は、繰越金七百三十三万八千円を財源として、人件費及び今後の支出に備え百六十二万四千円を予備費として計上したものです。

その他の可決議案
 ◇字の区域の変更
 ◇専決処分の承認を求めることについて

○温度は適温ですか
 眠るとき、ほどよい暖かさは三十分前まで十分です。一時間前前からスイッチを入れておくことは、浪費につながります。始めは寒いと思っても、そのうち体温も手伝って暖かくなります。フタの中で、暑さ寒さを感じない程度の温度が、ぐっすり眠れる温度です。

＜くまの省エネルギー＞
 電気毛布

おひに 寝は浪費

電気代 1ヵ月 188.1円 の損

新春を寿ぎ

謹んでご祝詞申し上げます

さびしい社会情勢をふまえて町政の推進にいっそうの努力を傾注したいと存じますので、特段のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

昭和五十五年元旦

- | | |
|--------------|-------------|
| 町長 橋本 正一 | 建設課長 荒 正芳 |
| 助役 荒 和英 | 農政課長 田村 利夫 |
| 収入役 加藤 智記 | 議事委員会 横尾 富男 |
| 教育長 佐藤 洋一 | 農業委員会 鈴木 義昭 |
| 総務課長 三国 孝之 | 事務局長 鈴木 義昭 |
| 企画開発課長 目黒美津英 | 公民館長 本田 好信 |
| 税務課長 西方 市郎 | 新地 荒 巖 |
| 住民課長 加藤 邦昭 | 保育所長 荒 巖 |
| 水道課長 鈴木 一夫 | 外 職員一同 |

謹賀新年

新春を迎え皆々様のご多幸をお祈り致します
 本年もよろしくお願ひ致します

昭和五十五年元旦

新地町議会
 議長 宍戸喜代治
 外議員一同



1980年

新春インタビュー



新年おめでとうございます。昔から「1年の計は元日にあり」と言われます。みなさんは、どんな夢と希望を今年にかけられましたか？

ここでは町内の老若男女10人のみなさんに登場を願い、新年の抱負を聞いてみました。



佐藤 啓治さん
釣師(63歳)
商業



青田 一郎さん
原相(51歳)
駒ヶ嶺郵便局



森 芳子さん
波民(50歳)
農業



目黒キミ子さん
木崎(48歳)
農業



小野 俊文さん
小川(43歳)
農業



川又 利美さん
大戸浜(37歳)
漁業



加藤 富子さん
下真弓(31歳)
農協勤務



八巻 幸広さん
菅谷(25歳)
菅谷製作所勤務



仁科 祥子さん
杉目(21歳)
和裁専門学校生



荒 弘子さん
埴浜(19歳)
会社員

町内の消費者に少しでも喜んでもらえるようにと思って販売しているのだが、相馬や仙台に町内の多くの消費者が流れている。でも最近、都会的なスーパーは不親切だということ。消費者にあきらめられつつあると思うので、田舎の商人は田舎の商人の特徴を生かし、いい商品を少しでも安く提供していきたい。

去年も仕事に追われ、あっという間に過ぎたような気がする。今年の抱負ということなんだが、正月三日は年賀状の集配におわれゆっくり考えてる暇もないんだが、平穩無事にこの一年を過ごせたいと思うだけだ。

去年は、花づくりに天候不順などでうまくなかったね。でも、息子に嫁さんをもらうことができたから、いい年だったですね。今年はその日、その日を健康でくらしたいと願っているんですけど…。個人的には、去年生け花の師範の免許を忙しくてとれなかったから、ぜひとりたいですね。

去年まで子供が一人だったので、野菜つくりを楽しみにずっとやってきたんだけど、去年、一人息子が嫁さんをもらい、今月十七日には初めての孫が生まれる予定なの。今年からは野菜つくりをやめ、孫の世話をすることもしているんだけど、孫の世話をすると、今から孫のことばかり考えているの…。

農家にとって米価を上げてもらうのが一番。それもあまり期待できない中で、転作割当てが去年の四割増ときている。今年も去年以上にきびしい年になりそう。今年から施設ものでも始めるかと思っているんだが、野菜は値動きが激しいし、価格安定の補償制度があればいいんだが…。

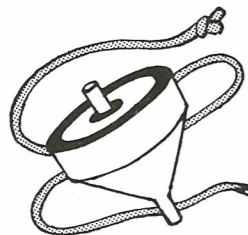
まず第一に解決してもらいたいのは、宮城県との漁区の問題だ。釣師の場合、漁の九〇割以上が宮城県沖なので、完全に宮城県から締め出されると、あがったりになってしまう。この問題を町、県段階で一日も早く解決してもらいたい。安心して漁ができるようになってほしいですね。

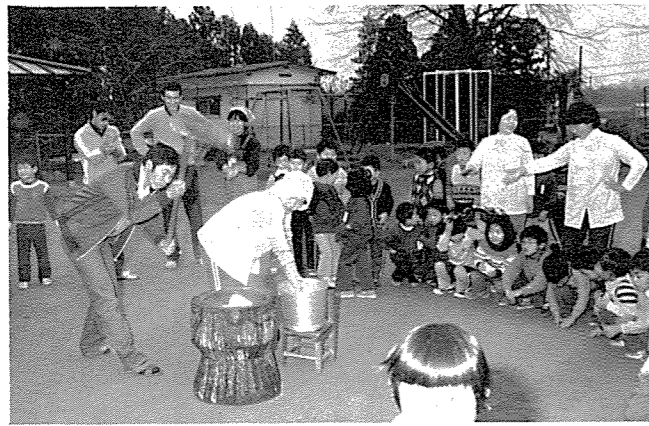
去年は家族みんなが病気がたりたりであまりいい年じゃなかった。俺が入っているS.T.クラブももう少しで優勝できるところだったんだけど、優勝決定戦で負けてしまった。今年も野球リーグで優勝することもなりたいけど、個人的にはそろそろ嫁さんが欲しいな。

去年一番悔いが残ったのは、野球リーグで優勝できなかったことだ。俺が入っているS.T.クラブももう少しで優勝できるところだったんだけど、優勝決定戦で負けてしまった。今年も野球リーグで優勝することもなりたいけど、個人的にはそろそろ嫁さんが欲しいな。

今年三月には四年間通った和裁専門学校を卒業して、家でぬいものをするのになります。まだどれだけやれるかわからないけど、とにかく仕立てを引受けて、自立するというのが今年の目標です。また、着付の先生の免許もとって、できたら着付教室も開きたいですね。

私は今年成人式なんですけど、誕生日が三月だからまだ実感としてわいてこないのね。でも、これからは自分の行動に責任をもたなければならぬし、いつでも自立できるように今から準備しておきたい。これは今年に限ったことでもないんだけど、看護婦とか保母、和裁、洋裁といった免許をとるとかね…。



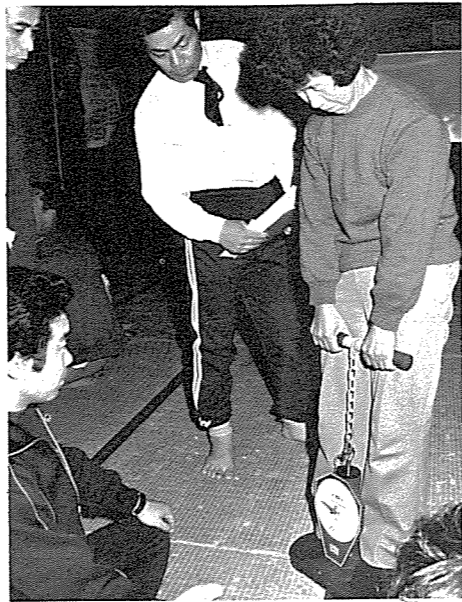


一足早く正月気分 町の青年会が12月15、22日、町内4保育所を訪ね、もちつきを行いました。これは青年会が毎年、子供たちのために昔ながらのキネ、ウスを使ったもちつきをプレゼントしているもので、この訪問に子供たちは大喜び。さっそくつきたてのもちをほおばり、一足早い正月気分を味わっていました。

鴻ノ巣ダムにサクラを植樹 新地町農業後継者会議では、12月22日、鴻ノ巣ダム周辺にサクラやイチヨウの苗木26本を植えました。これは将来、ダム周辺を桜の名所にしようと自分達で苗木を購入、会員総出で行ったものです。



トピックス



釣師地区で体力測定 体力測定が11月26、28、29日の3日間、釣師公会堂で行われました。これは町の健康づくり推進協議会が、町民の健康づくりの一環として釣師地区を対象に行ったもので86名が参加、腕立て伏せなど11種目に挑戦しました。体力には自信があると思っていたんだけど、思ったよりできなかった——というのが大方の感想で、ふだんの体力づくりの大切さを感じていました。

新地歌壇

大根を引く肩濡らし日照雨すぐ
鹿狼の空に虹を残せり
目黒ます代
めざめたるときに沸きいづ歌ことば
はや起きいでてするさんとする
岡元 三郎

紫の夕富士展け狩野川を
渡りつくせば吾娘の家見ゆ
広川みさ子

庭の木々なべて落葉するなかに
変らぬ松のみどりつやけき
角田 ふゆ

鹿狼嶺の枯色深まり匆忙と
この一年も暮れゆかむとす
目黒美津英

台風に怯びえ思ひし稲作も
米売り渡し今宵くつろぐ
荒 萬

朝毎にくぐり聞こゆみやしろの
太鼓の音に霜の度を知る
小松 栄子

庭先の紅葉散り敷きさみしらに
菊一輪が咲き残りたり
小山田つや

精薄の児等は抱かれ千代紙を
保母に教はり居るも愛ほし
荒 よしの

妻の焚く柚子湯に浸り貫通の
創あとにふれ戦野を憶ふ
小野 義男

霜月の日はぬくしやや風の
立ちたる軒におそき豆打つ
伊藤 正子

朝早き銃の音にめざめると
亡き舅の銃なつかしみ見る
三宅みさの

新地俳壇

寒空にいまを盛りの四季桜
よろこぶごとく鳥の囀つる
片平とし子

啼ききず寂しさ故か鏡き声の
夕づく背戸にしは啼くを聞く
三宅 康

いつしかに裸木となりし雑木々を
映して峽の沼静かなり
大田智恵子

陽向にてたはむれ居りし野ら猫の
一瞬吾れをふりむきて去る
荒 たまじ

長き夜に寝返り重ね明けし朝
頭持上ぐくり返しつづ
八島フミ子

遠山の時雨とどきて灯のともる
留守の戸に飼犬一つ豆はじけ
齊藤 清子

雨の来て残菊の香をたてにけり
渡辺たかを
代光 富峰

秋うらら幼稚園児の鼓笛隊
琴絃の音じめをして今朝の霜
大堀 虎杖

シャンソンの街にこぼれて冬に入
る
小幡 白帆

陽に寄せて室花の朱をいたわりぬ
石田 渭城

菜園のみどり混みあい冬ぬくし
辻 麗ら

加藤 白穂

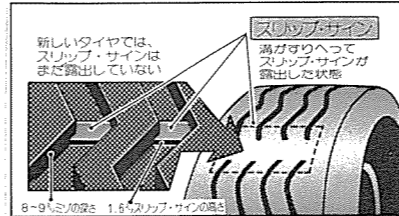
税務だより

還付のための申告はお早めに

税金の還付を受けるための確定申告は、2月16日より前でも受付けています。たとえば、次のような人は確定申告をすると、納め過ぎになっている税金が戻ります。

- 1、サラリーマンで、次の控除が受けられる人
 - (1)雑損控除……災害などで住宅や家財に損害を受けた人
 - (2)医療費控除……本人や扶養家族が病気になり、多額の医療費を支払った人
 - (3)住宅取得控除……一定の要件に当てはまる住宅を新築したり、新築住宅を購入した人
- 2、年の途中で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった人
- 3、予定納税をしていたが、休業や廃業などで所得が前年より大幅に減った人

確定申告をするときは、申告書に住所や氏名、扶養家族など所定事項を記載するとともに、申告書に添付したり、提示する書類もあります。くわしくは、相馬税務署にお尋ねください。



このスリップ・サインは、溝の中のことろ

タイヤの摩耗限度 (一般道路)

タイヤの種類	溝深さの限度
乗用車用タイヤ	—
軽トラック用タイヤ	—
小型トラック用タイヤ	—
トラック及びバス用タイヤ	—
二輪自動車用タイヤ	—
	〇・八ミリ

距離(ブレーキをかけてから停止するまでの距離)も長く、横すべりなど、不慮の事故を招く恐れも多いので、タイヤの摩耗には十分注意してください。

スリップ事故防止、
タイヤの摩耗限度を設定
溝の深さは一・六ミリ以上

この「摩耗限度」の設定によって、限度以下のタイヤを使用している車は車検が不合格になるのほかも、道路交通法による整備不良車両運転禁止となり、違反点数は一点で、反則金は六千円になります。また、高速道路を走る場合は、一般道路に比べて制動

タイヤの交換時期はスリップ・サインで判断を

タイヤには、それぞれ「これ以上すり減ると危険ですよ」という摩耗限度を知らせてスリップ・サインがついています。

年金だより

老齢年金の現況届 四月から提出時期が変更

社会保険庁は、国民年金の老齢年金、通算老齢年金を受けておられる皆さんに毎年、現況届の用紙をお送りしています。これは、皆さんに大切な年金を間違いなく受取っていただくため、どうしても必要な書類です。この届は、従来、皆さんから二

保健婦の健康メネ

お正月は楽しいものですが、高血圧症のかたには都合の悪い事が多くあるようです。お酒を飲む機会が多く、はしごなどももつてのほかに、塩分を取り過ぎることも多くなります。健康体のみならずは、一年間で、どれだけ塩分を取っているでしょうか。健康を保つには、一日十gが理想です。これを塩分だけで取ると一年に三千六百五十g、しょう油だけで約十升になります。昨年の産業文化祭に、三地区の

塩分のとりすぎに注意を

の食塩、しょう油の量を見て、みなさんは口々に「一年間に、こんなに取らない」とのことでした。確かに、驚くほどの量です。しかし、普段はその量の二倍は取っているでしょう。体自身「塩辛い、塩辛い」と言っているのではないのでしょうか。塩分を減らす工夫のひとつとして、料理にはしょう油をかけるよりも、つけるのが良いでしょう。調理では揚げ物、蒸し物は薄味でも食べられます。化学調味料や砂糖は、塩味を消しますから注意してください。特に、高血圧症の場合には、塩分を一日八gに制限しなければなりません。食事にもひと工夫が大切です。保健婦 中塚 文子



おらせ



障害児と共に生きぬいた

体験文募集

県肢体不自由児協会・県社会福祉協議会では、県内の障害児(肢体・視覚・聴覚・内部・精神薄弱児等)と共に生きぬいてきた親、兄弟等の体験文を募集しています。応募要領は次のとおりです。応募要領は次のとおりです。ふるってご応募ください。

◇応募資格

県在住の障害児と共に生きぬいた親・兄弟等。

◇応募締切

昭和五十五年二月二十九日(当日消印有効)

◇送り先

960 福島市渡利字七社宮一一一
福島県総合社会福祉センター
福島県肢体不自由児協会宛
(封筒の表に「体験記在中」と明記のこと)

◇応募規定

内容は障害児と共に生きぬいた体験で、四百字詰原稿用紙二十枚程度。作品には、題名・住所・年令・氏名(ふりがな)・電話を明記のこと。応募作品は未発表のものに限り、応募原稿は返却しません。優秀作三編、佳作三編には賞状と記念品を贈ります。

「わが家の家計簿」

体験談募集

あなたが家計簿を通して体験し、感じられたことをありのまま文章につづってみませんか。

貯蓄増強中央委員会、県貯蓄推進委員会では、「わが家の家計簿」と題した体験談を募集しています。あなたの貴重な体験を、新しく家計簿をつけようとしているかた、記帳の改善に苦心しているかたの参考にしてあげてください。募集要領は次のとおりです。

◇応募方法

四百字詰原稿用紙五枚以内と

最近一年分の月別・項目別支出一覧表を添付し、住所、氏名、職業、年齢、家族名、家計簿記帳年数、連絡電話番号を記入。

◇送り先

960 福島市杉妻町二一六
福島県生活福祉部県民生活課内
「福島県貯蓄推進委員会」宛
募集期限
昭和五十五年二月二十九日

「ご寄付ありがとう」

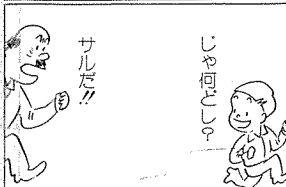
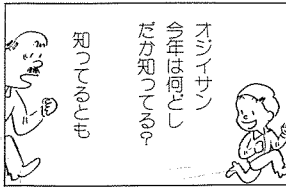
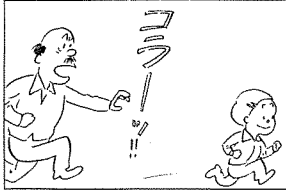
☆歳末助け合い運動結果

合計額五十二万四千三百五十八円
〔内訳〕戸別募金四十五万三千五百四十円、尚英中職員四千五百五十円、伊藤胞蔵さん(大戸浜)三千二百二十一円、期間外募金二万七千七百一十一円、多摩精密労働組合新地支部三万五千八百七十六円

※ 歳末助け合いにご協力頂きました募金は、次のかたがたに配分いたしました。

- (1) 社会福祉施設入所者
- (2) 精神病院入院患者
- (3) 在宅心身障害児者
- (4) 生活困窮者世帯

アッパッおじさん



今月の納税

町 県民税 第4期
国民年金 第4期

家族で楽しめる 体力テスト② 座位足開閉



す早い身のこなしをみる テスト(敏しょう性)

いすにかけ、雑誌の上に両足をのせ、図のように足の親指を床にタッチさせ、すばやく本にかえります。これを1回と数え、10秒間に何回できますか。

得点	1 点	2
男子	~15回	16~18
女子	~15回	16~18
体力年代	50歳代	40

3	4	5
19~21	22~24	25~
19~21	22~24	25~
30	20	強健者

- (5) 長期入院患者
- (6) 父子、母子家庭
- (7) 在宅長期療養者
- (8) 社会福祉施設



十一月届出

▽出生(届出は十四日以内に) おめでとようございます。

国 隆 森 幹市 菅 谷
航 西山 文男 中 島
直 美 齊藤 明 新地町
沙 織 本田 好伯 大山田
慎 太郎 小野日出美 大戸浜
淳 大堀 宏 岡

▽死亡(届出は七日以内に) おくやみ申しあげます。

布 施 清 60 作 田
清 野 昇 56 中 島
菅 野 智雄 85 中 島
森 屋 平蔵 78 新地町
齊藤 政儀 79 洪 民

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 10日 | 7日 | 6日 | 5日 | 4月 | 12月 | 30日 | 29日 | 28日 | 26日 | 23日 | 20日 | 19日 | 16日 | 15日 | 14日 | 11日 | 11月 |
| 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 | 相馬広域消防懇談会 |

町長日誌
楊中二